

注意喚起情報

米づくり技術情報 No.12

令和8年7月6日

出穂早まる予想！直ちに生育診断！遅れず穂肥！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

7月6日現在の試験研究機関の調査結果において、出穂期は、「はえぬき」「雪若丸」「つや姫」いずれの品種でも、平年より早まる予想です。また、7月6日発表の2週間予報（気象庁）によると、今後気温が高い日が続くと見込まれ、さらに出穂期が早まる可能性があります。

予想出穂期（農業総合研究センター調べ）

品種名	場所	出穂期	
		予想（平年差）	平年※
はえぬき	山形市	7/28 (-4)	8/2
	鶴岡市	7/29 (-2)	7/31
雪若丸	山形市	7/29 (-3)	8/1
	鶴岡市	7/29 (-2)	7/31
つや姫	山形市	8/4 (-4)	8/8
	鶴岡市	8/5 (-3)	8/8

2週間気温予報（気象庁HPより）

日付	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月
山形 (最高気温)	当日	27	31	31	32	33	31	31
山形 (最低気温)	当日	19	19	20	21	21	22	21

■ 高い □ 平年並

※過去7か年（H31～R7）の平均値。カッコ内は平年との差

当面の技術対策 ～生育診断結果に応じた適量の穂肥を遅れず施用～

- ◎直ちにイネの茎数や葉色を確認し、生育診断に基づいて遅れずに適量の穂肥を実施する。生育診断の基準より葉色が濃い場合は、追肥の量を減らして施用するか、追肥を行わない。
- ◎暑い夏を乗り切れる稲にするために、ケイ酸資材（水口施用等）を積極的に施用する。光合成促進、根の伸長促進、耐倒伏性向上、窒素利用率向上の効果が期待できる。
- ◎中干し終了後は、間断かん水もしくは飽水管理を行って土壌を酸化的に保ち、根の活力を維持する。水のためっぱなしは厳禁。
- ◎畦畔、農道、休耕田等の除草対策を徹底する（7月2日：斑点米カラムシ類注意報発表）。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

